

総務財政委員長に就任！

福岡市議会議員（西区）

田中（たなか）たかし（崇史）

議会通信 vol.31（2026年 夏号）

福岡市モラル・マナー条例改正案成立

福岡市議会議員（2期目）　福岡市民クラブ政調会長、総務財政委員会委員長、議会運営委員会理事 他
福大大濠高校卒業、拓殖大学卒業、法政大学大学院修了、国会議員政策秘書 等

田中たかし市政相談所
〒819-0378
福岡市西区徳永北14-27 1F
092-407-6236
tanakatakashi.office@gmail.com

市民の声をダイレクトにカタチにする、議員提案条例が成立

福岡市民を受動喫煙から守る！



福岡市議会第3回定例会（6月議会）で、4年ぶりとなる議員提案条例が成立しました。
福岡市の屋外での喫煙ルールは「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」（通称：福岡市モラル・マナー条例）に規定されていましたが、制定当時は歩行喫煙による周囲の方々への危険性を防止する観点での条例となっており、現在の社会的課題である「受動喫煙被害防止」の視点に欠けるものでした。
現在の社会的要請に応えたモラル・マナー条例へと変えていく必要があることから、議員有志による福岡市議会内での任意組織である「条例研究会」で議論を重ね、改正案を議員自ら取りまとめ、6月議会で提案するに至りました。

田中たかしはこの「条例研究会」に会派を代表して参加し、改正案作成に携わりました。

現在のモラル・マナー条例		
「たばこ」や「喫煙」などの定義なし	改正後	「たばこ」「路上喫煙」を定義し、禁止行為を明確化 ➡紙巻たばこだけでなく、加熱式も含むすべてのたばこ ➡道路だけでなく、公園、広場といった公共空間すべてで禁止
自転車乗車中や歩行喫煙が禁止	改正後	立ち止まっての喫煙も含め喫煙そのものが禁止
市の責務の記載なし	改正後	喫煙者への配慮も盛り込まれる ➡路上禁煙地区での分煙設備の設置、周知のための標識など市は必要な措置を取ることを明記

●路上禁煙地区の範囲について将来的な見直し検討も付則として明記される。　●周知期間を経て約1年後を目途に条例は施行される。

規制するだけではだめ！ 喫煙する人の権利も守る

今回の条例改正は喫煙する人からすれば、「規制が厳しくなるだけ」に映るかもしれません。規制強化の潮流は社会的要請ですが、単に喫煙者を排除するのではなく、吸う人も吸わない人も快適に過ごせる街づくりが不可欠です。そのため今回の改正には、ただ規制を強めるだけでなく、喫煙者の権利や利便性にも配慮し、市当局が必要な環境整備等の措置を講じる旨が盛り込まれました。それに伴い、今後は禁止エリア内での分煙施設の整備も同時に進められていく見込みです。

■路上禁煙地区（天神・大名）



■路上禁煙地区（博多駅周辺）



解説

議員提案条例とは？

市役所が気付かない「死角」を埋める議員発による条例

地方自治体には、首長（市長）と地方議会（市議会）のそれぞれを市民が直接選挙で選ぶ「二元代表制」が導入されています。通常、予算案や条例案の多くは市役所（行政側）が作成して議会に提出（首長提出）されます。
これに対し「議員提案条例」とは、地方自治法第112条に基づき、議員が自ら地域の課題を発見し、企画・立案して議会に提出する仕組みです。行政が拾いきれない現場の細かなニーズや課題に対し、市民の代表である議員が集まって議論を重ね、直接ルール化できるという、議会本来の「立法機能」を発揮する非常に重要な手続きです。



今回の議員提案条例 成立までの流れ

STEP 1 条例研究会の設置
今期が始まった2023年、福岡市議会の会派代表者での話し合いにより、「今期も条例研究会を設置する」ことが決定。各会派より条例研究会メンバーが選出され会派を超えての議論がスタート。田中たかしも福岡市民クラブを代表して参加しました。

STEP 2 作成する条例を決定
各議員や会派が持つ課題意識や地域要望などを持ち寄り、解決のために条例化が有効かを検討。議員提案として制定する必要性や緊急性も加味し、制定する条例を決定します。今期は他にもカスタマーハラスメント条例、客引き条例について調査・研究しました。

STEP 3 行政ヒアリング・現場調査
喫煙対策を所管する市民局が本市の喫煙環境に対しどのような認識なのか、さらには条例改正の見込みなどを確認。また、現行条例の課題点についても説明を受けました。他都市の先進的な条例（路上喫煙・マナー関連）の運用実績等も調査しました。

STEP 4 福岡市民クラブ内での検証
福岡市民クラブの中でも条例や喫煙に対する考えは様々。対象エリアを市内全域にすべきといったものや、罰則やその運用方法を見直すべきといった意見がありました。実効性ある条例とするための議論を重ね、統一見解を導き出す作業を丁寧に行いました。

STEP 5 会派間調整・改正案の起草
各会派によって取りまとめられた意見を条例研究会に持ち寄り、議会事務局の職員とともに原案を作成。条例の方向性や改正によって期待できる福岡市の姿などを明確にし、それを元に文言一つひとつについても法的整合性を丁寧に議論。改正案を完成させます。

STEP 6 議会提出・可決成立
令和8年6月定例会において改正条例案を提出。「議員」提案であることから、本会議における議案質疑、常任委員会では議員からの質問に提案議員が答弁するという形が取られます。議会での議論を経て、最終日には賛成多数で可決、成立しました。

「約4年で1本の条例」は非効率かもしれません。しかし「市民の行動に規制をかける」条例は極めて慎重に検討していくことが求められます。今回の条例改正案はそういった観点から丁寧に議論を進めてきました。

NEWS

議員定数調査特別委員会が設置される

6月定例会最終日、来春の市議選に向け「議員定数調査特別委員会」が設置され、田中たかしも会派を代表して委員に就任しました。福岡市の議員定数を巡る議論のポイントは2点です。

Point 1 総定数62のあり方	総定数62が決定された当時と比べ、本市の人口は20万人増加。人口増加を踏まえ総定数を増やすのか、それとも議会のスリム化や地方議会に対する市民感情を踏まえ現状を維持するのか。
Point 2 区ごとの定数配分	人口の変化により区ごとの人口と議員数に逆転現象が生じています。この逆転現象を是正するのか否かが論点です。議員数が減る区では地域への影響も大きいため、慎重な検討が必要です。

市民にとって最適で機能的な議会のあり方を目指し、徹底的な議論を進めてまいります。

福岡市民クラブ
議会通信
vol.109 | 2026年 夏号
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1福岡市庁舎議会棟　福岡市民クラブ議員控室
Tel:092-711-4736　Fax:092-732-4055　https://fukuokashimin.jp/



5月開催の臨時議会では、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の編成等を確認し、田中たかし議員が総務財政委員会の委員長、勝見美代議員が福祉都市委員会の副委員長を拝命。議会運営委員会では前年に引き続き、田中たかし議員（理事）、井上まい議員、前野真実子議員、議選監査委員に落石俊則議員が就任しました。

令和8年 第3回福岡市議会(6月定例会) 開催

令和8年第3回定例会[6月10日(水)~18日(木)]が開催され、令和8年度一般会計補正予算案、条例改正案、議員提出議案など全33議案について審議しました。

1 議案より/議案第149号 負担付きの寄附の受納

メイヤーズ・チャレンジ受賞者に贈呈される事業資金に関する議案

本市の「認知症フレンドリーシティ」の取組みが、国際政策コンテスト「メイヤーズ・チャレンジ2025-2026」で世界のトップ25都市に選ばれました。これを受け、市が事業資金120万米ドルの寄附を受けるための議案です。寄附金は令和8・9年度の受け入れ、提案した事業を実施。使途が本事業に限定され、未使用分は返還することが条件であるため、「負担付き寄附」として議会の議決を必要とするものです。

＜コンペに応募したアイデア＞
- **認知症コーディネーターの養成**
- **AIを活用したデータベースの構築・活用**

⇒ 認知症の方や家族、行政、企業が協働し新たな価値を創出する「イノベーションエコシステム」を構築



2 議案より/補正予算案から 省エネ家電買い替え促進事業 4.5億円

政府による「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の追加措置を受け、市民生活の支援を目的に補助事業を実施し、各家庭での電気量負担軽減と電力使用の低減を通じてCO2排出量の削減を図ります。

対 象 者：市内居住の世帯（世帯単位での申請）
対象家電：福岡市内の店舗で購入した、省エネ基準達成率100%以上のエアコン、冷蔵庫（買い替えのみ対象）
補 助 額：対象家電ごとに上限3万円／世帯、もしくは補助率1/3（いずれか金額の安い方）
●8月上旬から申請受付開始予定です。



認知症支援の実証を持続可能な仕組みへ！

議案質疑［6月10日］ **前野 真実子**（早良区）



本市の『認知症フレンドリーシティプロジェクト』が世界的政策コンペで120万ドルの寄附を獲得したため、その寄附金を用いて実施する事業について質しました。認知症コーディネーター養成、AIを活用したデータベース構築などが示されたことから、**データベースの完成後の維持費などを確認。単なる実証事業で終わらせず、持続可能な仕組みにするよう求めました。**また、補正予算案では『福岡市博物館リニューアル事業』について質問。主な使途であるアスベスト撤去、入札不調による工期延長、防犯カメラ設置に関して確認しましたが、特に防犯カメラについては、計画当初に予定はなかったものの安心安全な南側広場を求める地域住民の要望で設置されることから、人員体制も含めた警備体制全般について確認。**市民に親しまれる南側広場となるよう求めました。**

4年ぶりに議員提案条例が可決！ 福岡市モラル・マナー条例を改正



福岡市の屋外喫煙ルールは「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」（モラル・マナー条例）に定められていましたが、受動喫煙防止の視点に欠けていたことから議員有志による「条例勉強会」で議論され、今議会で改正案を提出。賛成多数で可決されました。

◀提案理由の説明をする田中しんすけ議員

＜主な改正内容＞ **路上禁煙地区**（天神・大名、博多駅周辺）において
- ❶たばこ・喫煙を定義して**加熱式たばこ**も禁止
- ❷道路上だけでなく**公園における喫煙**も禁止
- ❸**立ち止まっての喫煙**を含めて喫煙そのものを禁止
- ❹**路上喫煙を防止するための措置を追加**

※2万円以下の過料については現行通り
今後は分煙施設の整備や路上禁煙地区を周知する標識の設置を進め、将来的には禁煙地区の範囲の見直しも検討していきます。

就職氷河期世代を救え！

一般質問［6月11日］ **落石 俊則**（東区）



福岡市の就職氷河期世代（概ね40 ～ 55歳）は約34,000人と推計され、正社員と正社員以外では、大きな賃金格差が生じています。特に非正規の独身女性は景気悪化の影響で収入の減少リスクが高く貯蓄も少ないため、不安定な生活に陥りやすいことから、**正規雇用転換に向けたミドル世代就職支援事業やリスキリング講座の拡充**を要望。また、高齢期を見据えた支援として、セーフティネット登録住宅の拡充や居住サポート住宅制度の創設・普及等、**住宅確保策の着実な実施と併せ、昨年全区役所に開設された福祉の総合相談窓口（ぬくもりの窓口）の担当職員の増員を含め相談窓口体制の拡充**も求めました。

福岡城跡の整備ついては、歴史上・学術上特に重要と認められた国史跡指定の名に恥じないよう**真正性を確保できる資料を基に復元整備を進めるべき**と強く要望しました。

宅配業者の業務効率を上げる仕組みづくりを

一般質問［6月15日］ **ついちはら 陽子**（東区）



ネット通販の拡大により宅配事業は重要な社会サービスとなっています。本市では今年4月、商業地域内の共同住宅には荷捌き用駐車場を設置するよう努力する旨が追加された「改正附置義務条例」が施行されましたが、依然として商業地域外の共同住宅には荷捌き用駐車場の設置義務はないため、宅配事業者の配送効率の低下は解消されていないと指摘。**附置義務の対象を商業地域外の共同住宅にも広げるよう要望**しましたが、当局は条例改正したばかりであり、まずは状況を注視していくとの答弁。質問にあたり、**本市には宅配業者への支援策等を所管する部署がないことも判明**したことから、今後は今後は荷捌き用駐車場の確保など宅配事業者の意見要望を吸い上げる場が必要であると訴えるとともに、**配送現場の現実に沿った、必要な対策を講じるよう要望**しました。

教育現場を支える学校司書の離職を防げ！

一般質問［6月12日］ **井上 まい**（城南区）



会計年度任用職員の給料は給与改定で上昇傾向にある一方、週20時間未満勤務の職種では、扶養を外れて保険料負担が生じ、むしろ手取りが減る「130万円の壁」問題が起きています。本市の学校司書(資格職)もその一つです。さらに、本市では制度の問題だけでなく、そもそもの勤務時間設定が短すぎる課題もあります。本の修理や授業支援など多岐に及ぶ専門業務を週16時間勤務（2校担当）で十分に行えないとの声が多く、市の調査でも時間内に業務を終えられないと感じる司書が半数を超えました。**他都市と比べても勤務時間は短く、司書の専門性を活かせる勤務環境の整備が急務です。**専門職の離職は、行政サービスの質確保にも直結する深刻な課題です。**人件費抑制を志向するだけでなく、業務実態や人材確保の観点から必要な勤務時間や配置の検証を求めました。**

「予防」を軸とした健康づくりについて

一般質問［6月15日］ **山田 ゆみこ**（博多区）



「人生100年時代」を見据え、働く世代から高齢期まで切れ目のない健康づくりと介護予防について質問。本市では、健診受診の促進や「ふくおか散歩」アプリ、「ながらエクササイズ」などを活用し、日常生活の中で健康づくりに取り組める環境づくりを進めています。また、高齢者向けにはフレイル予防教室や地域包括支援センターによる支援、保健師による訪問活動などを実施し、**介護が必要となる前の段階から支援につなげる取組みを行っています。**一方で、健康づくりに関心が低い方や外出機会の少ない方に、どのように情報を届け、支援につなげていくかも課題です。

今後さらに高齢化が進む中、介護が必要になってから支えるだけでなく、**健康寿命を延ばし、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護予防の取組みを一層充実させるよう求めました。**

TOPICS 落石俊則議員「勤続15年表彰」



第102回全国市議会議長会定期総会において、議員在職10年以上（以降5年ごと）が表彰されました。福岡市民クラブからは落石俊則議員が在職15年を迎え表彰を受け、6月議会開会日に議長より表彰状の伝達と市長からの感謝状の贈呈が行われました。

Infomation 福岡市議会・福岡市民クラブ

第15回 議会活動報告会



日時 **8/29(土) 14:00**　場所 **TKP天神スカイホール16F**

恒例の「福岡市民クラブ議会活動報告会」を今年も開催します。今年は今期最後の年ということで天神スカイホールにおいて会派勢揃いで総決算の報告会となります。我々の取り組みが福岡市政にどう反映されたのか、私たちの足跡をお聞きください。